

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	誤嚥・窒息対応について職員のスキルアップのための実技訓練を定期的な実施しなければならない。	誤嚥、窒息等の緊急時の対応を全職員ができるようになる。	緊急時の実技訓練の実施。全職員がマニュアルの学習を日頃から行う。定期的に訓練を行い、緊急時の初動行動をスムーズに行えるようにしていく。また救急救命講習等の勉強会参加の徹底。	12ヶ月
2	26	利用者のニーズ・目標をより具体的にとらえて設定し、5W1Hを意識した介護計画の策定をしなければならない。	本人が発した言葉や状況をありのままに、具体的に記録し、その方らしい生活を取り戻せるような介護計画を作成する。	日々のケース記録に本人の発した言葉や状況を具体的に残していき、職員間で情報共有し、その方らしい介護計画を作成し、支援につなげていく。	12ヶ月
3	38	夜間を想定した避難訓練も実施しなければならない。	夜間の職員の少ない時間帯に災害が起こった時に全職員が対応できる。	夜間帯を想定した訓練を実施。夜間帯のマニュアルも作成し、全職員が日頃から学習を行う。	12ヶ月
4	4	幅広く意見を収集するために、不参加の家族には議事録を郵送して意見を求める等の取り組みをしなければならない。	運営推進会議で話した内容を知っていただき、理解や意見を頂くことで、今後の運営やサービスの向上に活かしていく。	運営推進会議後に不参加の家族に議事録を郵送し、幅広く意見を頂き今後の運営やサービスに繋げていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。